

(4) 平成 13 年度中学生ワークショップ開催概要

開催の目的

このワークショップは、中学生との協働によって、現在の緑の問題点を発見し、将来における、緑と水を大切にした環境にやさしいまちづくりについて、考えを語ってもらう場とし、中学生の素直な視点から、緑豊かなまちづくりのアイデアをまとめ、計画内容に反映させていくことを目的に実施しました。

中学生を対象とする視点

緑と水のまちづくりに関する新鮮なアイデアの創造

緑と水を大切にした環境にやさしいまちづくりの意義に対する理解

将来的な緑と水を大切にした環境にやさしいまちづくりの担い手を育てる

ワークショップからの提案について

< 三島駅北口周辺チーム >

主な意見

新幹線の高架下に潤いがない。駅前にすぐ工場があり、これも長い壁になる。絵など書いたら面白そう。日大前のイチョウ並木はきれいだが、落ち葉が多い。上岩崎公園が良い。

テーマ：「光放つ水と緑の三島駅北口」

提案：北口広場とオブジェの模型



<三島駅南口周辺コース>

主な意見

南口コース：楽寿園の存在が大きいですが、駅前から遊歩道などが欲しい。愛染の滝の活用。白滝公園は厳かで、怖い雰囲気。

テーマ：「人の入りにくい公園から明るい公園に」

提案：白滝公園の改善案（キャラクターづくり、開放感あるバリアフリーな公園）



<広小路コース>

主な意見

商店街の空間を有効に使う（店の中にも公園（広場）を設置する、プランターを置いて緑を多く見せるなど）源兵衛川は良い川。鎌倉古道は歩行者専用の方が良い。コンクリート壁が殺風景のところがある。

テーマ：「古いビルを楽しい公園に」、「入りにくく狭い入り口を入りやすく」、「危ない道を楽しく面白い道に」

提案：旧ヤオハンビルの公園化



< 田町コース >

主な意見

田町駅前は道が分かりにくい。佐野美術館前の空き地を活用して公園にするなど。南田町広場の前の花壇の管理をみんなでした方が良い。



テーマ：「ふつうの壁から緑の壁へ」、「みんなの広場からみんなの公園へ」

提案：壁面緑化の模型と5年、10年を見据えた南田町広場の使い方

